

令和元年度

事業報告書

公益財団法人福島県保健衛生協会

## 令和元年度 事業報告書 (兼 職務執行状況報告書)

(概況)

令和元年度の事業を概括すると、まず、健(検)診事業全体で、高齢化の進行に伴う受診者数の減少に加え、令和元年東日本台風の影響、さらに年度末には新型コロナウイルスの感染拡大による健(検)診事業の延期等により、受診者数が減少し減収となった。

一方で、慢性腎臓病(CKD)対策として推進している尿中微量アルブミン検査及び推定食塩摂取量測定は、実施市町村数・件数ともに増加したことで増収となったほか、眼底検査は住民健診における両眼撮影導入の働きかけが奏功し増収に繋がった。

なお、市町村及び(株)キャンサーズキャン社と連携して行った健(検)診未受診者への受診勧奨については、受診者数の確保に向けて一定の効果がみられたものの、市町村国保加入者減少の影響が大きく健康診査全体の減収を止めることはできなかった。

次に、総合健診センター事業では、今年度よりスタートしたアフタヌーン健康診断の需要が増えたことと、低線量CTによる肺がん検診のコホート研究事業に参加したこと等により健康診断事業で増収、風疹抗体検査の受診者とインフルエンザワクチン接種数の増加により予防接種事業で増収となったものの、人間ドック事業は、受診者数の減少で減収となった。

さらに、理化学分析事業では、令和元年東日本台風の被害を受けた民間検査機関の代替えとして検査依頼が増加し増収となったものの、理化学分析事業全体では、単価設定の高い多項目検査の依頼数が減少したことにより減収となった。

### 1. 健(検)診・検査事業

地域住民のがん検診の受診者数は、11,951人減の309,154人(前年度比96.3%)となり、収入面では、33,249千円の減収となった。また、職域を含めたがん検診全体の収入は、職域検診において胸部エックス線撮影のデジタル化に伴う値上げを行ったものの、受診者数の減少の影響等で、55,633千円の減収(前年度比95.5%)となった。

地域住民の主な検診事業の状況は、結核・肺がん検診は、一部の市町村で県民健康調査を施設検診に移行したことと、令和元年東日本台風の被害により健診が中止となった市町村の影響等で3,520人の減(前年度比97.0%)、収入面では9,157千円の減収となった。胃がん検診は、透視から内視鏡への移行の影響等で、3,961人減(前年度比90.3%)、収入面では12,815千円の減収となった。乳がん検診は、受診者数の増加に向けて予約上限数を増やす対応を行ったものの、569人の減(前年度比96.9%)、収入面では6,111千円の減収となった。大腸がん検診は、市町村全体の受診者数が減少傾向にあることに加え、施設検診への移行等の影響で2,410人減(前年度比97.0%)、収入面では2,882千円の減収となった。子宮がん検診は、隔年検診への移行の影響で車輛集団検診が1,366人の減(前年度比

92.3%)、施設検診は125人減(前年度比99.7%)となり、収入面では3,545千円の減収となった。

次に、慢性腎臓病(CKD)対策として自治体への導入を働きかけている尿中微量アルブミン検査及び推定食塩摂取量測定については、尿中微量アルブミン検査は、前年度と比較し2町並びに1,601件増の20,225件(前年度比108.6%)となり、収入面では、1,922千円の増収となった。また、推定食塩摂取量測定は、3市町並びに9,946件増の31,786件(前年度比145.6%)となり、5,967千円の増収となった。

眼底検査は、地域住民の健診において今年度より両眼撮影導入の働きかけを行った結果、全体では5,075件増の85,404件(前年度比106.3%)となり、収入面では、46,993千円の増収(前年度比206.0%)となっている。

市町村及び(株)キャンサースクン社と連携して9市町で行った健(検)診未受診者への受診勧奨については、受診者数が7市町で増加し、減少した2市町においても減少幅を食い止める一助となり、510人増の26,973人(前年度比101.9%)、収入面では3,264千円の増収となった。受診者数の確保に向けて一定の効果がみられたものの、市町村国保加入者数減少の影響等で、健康診査全体では3,205人減の111,076人(前年度比97.2%)、収入面では20,464千円の減収となった。

なお、新規事業として、令和3年度まで行われる国の風疹追加的対策に伴う検診現場での受け入れ体制の構築と胃がん及び肝がんリスク検査の受診体制を整備した。

精検受診率の向上対策については、国保加入者を対象として泉崎村及び天栄村において無料説明会を実施した他、企業では日東産業(株)において「生活習慣病の予防について」と題して無料講演会を実施した。

禁煙対策を目的としたCOPD検診導入促進のために喫煙する従業員が比較的多く在籍する工場等をもつ事業所を中心に渉外活動を行ったが、新規導入に至った事業所はなかった。

#### 1. 健(検)診・検査事業における地域住民健(検)診等の現状(実施件数)

単位:件

健診等の種別		年度	令和元年度 (実績)	平成30年度 (実績)★	対前年度比 (%)
特定健康診査	市町村国保		67,434	70,091	96.2
	被扶養者		9,217	9,435	97.7
健康診査	後期高齢		31,164	30,800	101.2
	他の健康診査		3,261	3,955	82.5
結核・肺がん検診	胸部エックス線検査		109,328	112,730	97.0
	喀痰細胞診		5,566	5,684	97.9
胃がん検診			36,958	40,919	90.3
大腸がん検診			78,587	80,997	97.0
乳がん検診			17,613	18,182	96.9

子宮がん検診	車輜検診		16,308	17,674	92.3
	施設検診		44,794	44,919	99.7
推定食塩摂取量測定			31,768	21,822	145.6
尿中微量アルブミン検査			20,225	18,624	108.6
眼底検査	地域住民	片眼撮影	5,330	79,329	6.7
		両眼撮影	80,074	1,018	7865.8
		計	85,404	80,347	106.3
	職域	片眼撮影	37,079	37,934	97.7
		両眼撮影	243	422	57.6
		計	37,322	38,356	97.3

★平成30年度実績は、当協会精度管理委員会データであり、令和2年3月25日開催理事会に報告した実績と異なる。

1. 健(検)診・検査事業における地域住民健(検)診等の現状(収入)

単位:千円

健診等の種別		年度	令和元年度 (実績)	平成30年度 (実績)	対前年度比 (%)
特定健康診査	国保		431,577	448,582 <sup>※</sup>	96.2
	被扶養者		58,988	60,384 <sup>※</sup>	97.7
健康診査	後期高齢		199,499	197,120 <sup>※</sup>	101.2
	他の健康診査		20,870	25,312	82.5
結核・肺がん検診	結核		113,003	114,264	98.9
	肺がん		167,810	175,706	95.5
胃がん検診			156,836	169,651 <sup>※</sup>	92.4
大腸がん検診			100,445	103,327 <sup>※</sup>	97.2
乳がん検診			102,501	108,612 <sup>※</sup>	94.4
子宮がん検診	車輜検診		57,078	61,859 <sup>※</sup>	92.3
	施設検診		304,050	302,814 <sup>※</sup>	100.4
推定食塩摂取量測定			19,060	13,093	145.6
尿中微量アルブミン検査			24,270	22,348	108.6
眼底検査	地域住民	片眼撮影	2,942	43,227	6.8
		両眼撮影	88,401	1,123	7,871.9
		計	91,343	44,350	206.0
	職域	片眼撮影	25,955	26,553	97.7
		両眼撮影	340	590	57.6
		計	26,295	27,143	96.9

※平成30年度の実績に誤りがあったため、令和2年3月25日開催理事会に報告した実績と異なる。

## 2. 総合健診センター事業

健康診断は、協会けんぽ生活習慣病予防健診及び市民検診の実施日数を増やして受診者の受け入れ体制を整備したこと、アフタヌーン健康診断の需要が増加傾向にあったため、受診者数の増加を見込んでいたが、前年度の新規顧客が他機関を利用した影響等で受診者数は減少したが、低線量 CT による肺がん検診のコホート研究事業に参加したことにより、収入面では、5,006 千円の増収となった。

二次精検事業は、当協会を指定精検医療機関とすることができないことと、胸部精密検査専門医の退職等の影響で、126 人の減（前年度比 82.1%）、収入面では 1,021 千円の減収となった。

人間ドック事業は、一部の共済組合職員及び地域住民の受診者数が減少したことの影響等で、115 人の減（前年度比 96.8%）、収入面では 13,874 千円の減収となった。また、オプション検査の軽度認知障害の兆候を早期に発見できる軽度認知症障害（MCI）スクリーニング検査を新規に導入し、45 人実施した。乳がん検診では、3D マンモグラフィを推進し、高濃度乳腺の受診者等を積極的に受け入れたが、人間ドックや協会けんぽ健康診断の受診者数が減少した影響で、139 人減の 241 人の実施となった。

予防接種事業は、無料クーポン券を利用した風疹抗体検査を希望する受診者が増加したことと、インフルエンザワクチン数を十分に確保し新規の受託が増加した影響により、計 90 件増の 2,354 件（前年度比 104.0%）となり、収入面では 1,365 千円の増収となった。

総合健診センター全体では、受診者数は 424 人の減（前年度比 96.7%）、収入面では 8,524 千円の減収（前年度比 96.9%）となった。

(2) 総合健診センター各種事業の現状(人数)

単位:人

年度 事業等の種別	令和元年度 (実績)	平成 30 年度 (実績)	対前年度比 (%)
健康診断	5,901	6,174	95.6
二次精検	576	702	82.1
人間ドック	3,477	3,592	96.8
予防接種等	2,354	2,264	104.0
計	12,308	12,732	96.7

(2) 総合健診センター各種事業の現状(収入)

単位:千円

年度 事業等の種別	令和元年度 (実績)	平成 30 年度 (実績)	対前年度比 (%)
--------------	---------------	------------------	--------------

健康診断	97,620	92,614	105.4
二次精検	5,218	6,239	83.6
人間ドック	155,187	169,061	91.8
予防接種等	10,670	9,305	114.7
計	268,695	277,219	96.9

### 3. 理化学分析事業

水質検査は、住宅の建設増加による浄化槽の検査依頼が増加したことと、県中地区の民間検査機関が令和元年東日本台風の被害を受け一時的に業務継続が不能となり、当協会への検査依頼が増加した影響等で、539件の増（前年度比106.3%）、収入面では930千円の増収となった。

環境調査業務における飲料水検査は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により個人からの依頼が減少したことと、令和元年東日本台風による井戸の破損を受けて井戸を閉鎖する顧客が増加した影響等で、99件減の3,766件（前年度比97.4%）、収入面では877千円の減収となった。

理化学分析事業全体では、単価設定の高い多項目検査の依頼数が減少したことの影響等もあり4,330千円の減収（前年度比98.5%）となった。

#### (3) 理化学分析各種事業の現状(件数)

単位:件

年度		令和元年度 (実績)	平成30年度 (実績)	対前年度比 (%)
検査項目				
水質検査		9,080	8,541	106.3
大気測定		542	531	102.1
食品検査		8,517	8,614	98.9
環境衛生	簡易専用水道施設検査	1,497	1,480	101.1
	その他の検査	3,741	3,717	100.6
環境調査(放射能測定等)		3,766	3,865	97.4
作業環境測定		202	174	116.1
計		27,345	26,922	101.6

#### (3) 理化学分析各種事業の現状(収入)

単位:千円

年度		令和元年度 (実績)	平成30年度 (実績)	対前年度比 (%)
検査項目				
水質検査		63,428	62,498	101.5

大気測定	17,561	18,571	94.6
食品検査	44,423	44,218	100.5
環境衛生(簡易専用水道施設検査等)	94,604	98,959	95.6
環境調査(放射能測定等)	29,735	30,612	97.1
作業環境測定	32,915	32,138	102.4
計	282,666	286,996	98.5

#### 4. 普及啓発事業

健康教育研究会で肝疾患診療に関する講演会を開催し約 80 名が参加したほか、県・市町村や医科大学・県医師会が「結核予防週間」、「がん征圧月間」、「健康増進普及月間」等に合わせて行う疾病予防の啓発イベントやがん検診受診勧奨街頭キャンペーン等に参加し、啓発用冊子の配布等による啓発に努めた。

また、健康を守る婦人連盟の健康集会事業を通じて会員のみならず家庭や地域における健康意識の向上に取り組んだ。

#### 5. がん基金事業

がん基金の運用益等を活用し、がん征圧月間期間中の新聞広報や県・医師会等が主催する各種健康関連イベント等を通じてがん予防と生活習慣見直しの普及啓発活動を行った。

#### 6. 建物等の継続管理事業

旧第一診療所の解体については、福島市の再調査によりアスベストの使用が確認されたことから、アスベスト除去費用(3,800 万円)も含めた補償費全体の積算が見直され、令和 2 年 2 月 7 日に福島市と物件移転及び不動産売買契約を締結した。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ業者の選定及び完了(引渡し)時期について福島市と調整しているところである。

#### 7. 令和元年度 保健衛生褒賞基金事業

##### 1. 岩永賞

該当者なし。

##### 2. 楠賞

該当者なし。

## 8. 財務状況及び実績

別紙令和元年度決算報告書のとおり。

なお、主な実績は以下のとおり。

### ① 健（検）診・検査事業

	令和元年度実績 (人/件)	平成30年実績 (人/件)	増 減
(1) 結核検診			
① 学校保健	23,782 人	24,481 人	△699
② 地域検診	80,717 人	81,290 人	△573
③ 労働衛生			
直接撮影・デジタル	19,484 人	19,745 人	△261
④ 精密検診			
精密検診	1 人	0 人	1
(2) 胃がん検診			
① 地域検診	36,958 人	40,919 人	△3,961
② 労働衛生(協会けんぽ含む)	24,519 人	31,728 人	△7,209
(3) 子宮がん検診			
① 子宮がん車輻検診			
ア 地域検診	16,308 人	17,674 人	△1,366
イ 労働衛生	3,383 人	3,419 人	△36
② 子宮がん施設検診			
ア 地域検診	44,794 人	44,919 人	△125
イ 労働衛生	1,395 人	1,431 人	△36
③ 子宮体がん施設検診	92 人	81 人	11
④ 子宮がん施設精密検診			
ア 組織診検査	567 人	568 人	△1
イ 細胞診検査	1,774 人	1,932 人	△158
(4) 肺がん検診			
① 地域検診			
ア 肺がん検診(喀痰)	5,566 人	5,684 人	△118
イ 肺がん検診(肺野部)(協会けんぽ除く)	109,862 人	112,731 人	△2,869
② 労働衛生			
ア 肺がん検診(喀痰)	1,560 人	1,975 人	△415
イ 肺がん検診(肺野部)	47,489 人	54,241 人	△6,752
(5) 乳がん検診			



① 地域検診(いわき市除く)	17,613 人	18,182 人	△569
② 労働衛生	3,076 人	2,597 人	479
(6) 大腸がん検診			
① 地域検診	78,587 人	80,997 人	△2,410
② 労働衛生(協会けんぽ含む)	31,235 人	40,211 人	△8,976
(7) 特定健康診査			
① 地域検診	76,651 人	79,526 人	△2,875
② 特定保健指導	1,614 人	1,091 人	523
(8) 骨粗鬆症検診			
① 地域検診	12,056 人	12,933 人	△877
② 労働衛生	700 人	682 人	18
(9) 臨床検査			
① 学校保健			
ア 寄生虫検査	2,488 件	2,840 件	△352
イ 尿検査	130,590 件	133,140 件	△2,550
ウ 心電図検査	69,338 件	71,732 件	△2,394
エ 血液検査	29,764 件	31,999 件	△2,235
オ その他の検査	18,446 件	15,880 件	2,566
② 地域検診			
ア 血液検査	183,708 件	186,454 件	△2,746
PSA 検査	27,471 件	29,480 件	△2,009
イ 健康診査	31,821 件	31,856 件	△35
ウ 県民健康調査(健康診査)	30,760 件	33,434 件	△2,674
エ その他の検査	134,465 件	130,604 件	3,861
③ 労働衛生			
ア 心電図検査	63,074 件	67,916 件	△4,842
イ 眼底検査	37,322 件	39,623 件	△2,301
ウ 尿検査	17,708 件	24,744 件	△7,036
エ 血液検査	213,770 件	226,541 件	△12,771
オ 健康診断	74,149 件	73,386 件	763
カ 血圧測定	11,713 件	18,984 件	△7,271
キ 聴力検査	54,906 件	58,166 件	△3,260
ク その他の検査	131,352 件	174,262 件	△42,910
④ 特殊検診			
ア 有機溶剤健診	7,025 件	7,461 件	△436

イ 鉛健康診断	441 件	534 件	△93
ウ じん肺健康診断	440 件	356 件	84
エ 騒音健康診断	792 件	704 件	88
オ VDT 健康診断	3,916 件	3,980 件	△64
カ その他の検査	6,362 件	6,326 件	36
⑤ 保菌検査	16,645 件	16,651 件	△6
⑥ 医療機関からの受託検査			
ア 一般臨床検査	1,031 件	1,260 件	△229
イ 病理組織検査	2,131 件	2,024 件	107
ウ 細胞診検査	25,556 件	25,689 件	△133
⑦ 母子保健			
ア 先天性代謝異常検査	14,112 件	15,080 件	△968
(10) 口腔健康診査			
① 地域検診	0 件	687 件	△687
② 労働衛生	11 件	14 件	△3
(11) 健康づくり事業			
① 健康づくり事業	73 件	218 件	△145
② 総合健康管理受託事業	16 件	12 件	4

## ② 総合健診センター事業

	令和元年度実績 (人)	平成 30 年実績 (人)	増 減
① 健康診断	5,901	6,174	△273
② 二次精検	576	702	△126
③ 人間ドック	3,477	3,592	△115
④ 予防接種等	2,354	2,264	90

## ③ 理化学分析事業

		令和元年度実績 (件)	平成 30 年実績 (件)	増 減
水質検査		9,080	8,541	539
大気測定		542	531	11
食品検査		8,517	8,614	△97
環境衛生	簡易専用水道施設検査	1,497	1,480	17
	その他の検査	3,741	3,717	24

環境調査(放射能測定等)	3,766	3,865	△99
作業環境測定	202	174	28

④ 複十字シール募金

運動期間	令和元年 8 月 1 日～令和元年 12 月 31 日
募金実績額	2,397,038 円
(募金目標額	3,500,000 円)

9. 事業及び経理上生じた重要事項

10. 内部監査の状況

11. 各種委員会その他重要な組織の活動状況

12. 理事会の決議事項のうち特に重要な事項の経緯

13. その他理事会から報告を求められた事項

\*9. から 13. までについては令和 2 年 3 月 25 日開催の第 21 回通常理事会報告「職務執行状況報告書」のとおりであり、詳細は省略。